



令和3年度

事業報告書

令和4年6月

一般社団法人 日本私立歯科大学協会

令和3年度事業報告及び収支決算報告（案）

目 次

I 事業報告

1. 個別事項

(1) 歯科医療提供体制等に関する検討会について	3
(2) 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に関する連絡調整委員会について	4
(3) 歯科医師国家試験について	4
(4) 歯科医師臨床研修について	5
(5) 歯学教育分野別評価について	6
(6) 共用試験の公的化について	7
(7) 附属病院の感染対策について	8
(8) 協会の「広報戦略」について	
①第12回歯科プレスセミナーの開催	9
②「ユニヴプレス11月号」への広告記事掲載	9
(9) 私立歯科大学（学部）の財政等の現状について（令和2年版）	10
(10) 広報発行（第82号・第83号）について	10
(11) 受験生確保対策事業について	
①高等学校等への入試関係資料の送付	10
②「医歯薬進学5月号」への広告掲載	11
③「医療系大学データブック2022」への寄稿	11
④協会ホームページによるPR	11
⑤高校生向け冊子「歯学部へ行こう!!」の配布	11
⑥入学志願者の状況調査等	12
⑦受験生確保対策事業に係る新たな事業の提案	12
(12) 第83回私立大学歯学部学生生活協議会について	13
(13) 研修事業について	
①第42回附属病院管理運営事務研修会	13
②第13回教務研修会	13
(14) 新型コロナウイルス感染症への対応について	
①令和3年度協会事業の開催方法等	14
②新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査	14
③歯科医師による新型コロナウイルスワクチン接種への協力	15
④私立歯科大学・歯学部におけるワクチン接種への協力及び学生・教職員へのワクチン接種の進行状況調査	16
⑤私立歯科大学・歯学部におけるワクチン3回目接種の進行状況調査	17
(15) 災害歯科保健医療連絡協議会について	17
(16) 私学関係諸団体との提携・協力及び援助について	18

2. 会 議

(1) 総 会

- ・第 92 回定時総会 (R3. 6. 17)29
- ・第 93 回臨時総会 (R4. 3. 24)31

(2) 理事会

- ・第 1 回 (R3. 5. 21)36
- ・第 2 回 (R3. 6. 3)36
- ・第 3 回 (R3. 6. 17)39
- ・第 4 回 (R3. 6. 17)40
- ・第 5 回 (R3. 11. 26)41
- ・第 6 回 (R4. 2. 24)47
- ・第 7 回 (R4. 3. 24)50

(3) 部会・委員会

①教育・研究部会

- ・第 1 回 (R3. 7. 21)52

②病院部会

- ・第 1 回 (R4. 3. 23)52

③経営部会

- ・第 1 回 (R3. 9. 14)52

④受験生確保対策委員会

- ・第 1 回 (R3. 11. 4)53

⑤附属病院感染対策協議会

- ・第 13 回 (R4. 3. 23)53

⑥第 83 回私立大学歯学部学生生活協議会 (R3. 10. 12)

-53

(4) 事務局長会議

- ・第 1 回 (R3. 5. 25)54
- ・第 2 回 (R3. 11. 11)54
- ・第 3 回 (R4. 2. 15)55

(5) 研修会

①第 42 回附属病院管理運営事務研修会 (R3. 10. 28)

-56

②第 13 回教務研修会 (R3. 12. 9)

-56

II 収支決算—令和 3 年度日本私立歯科大学協会収支決算報告書58

III 令和 4 年度日本私立歯科大学協会事業計画69

IV 令和 4 年度日本私立歯科大学協会収支予算72

V 日本私立歯科大学協会役員名簿74

VI 正会員の入会・退会及び会員名簿75

VII 資料

- 1. 私立歯科大学・歯学部募集人員の推移77
- 2. 令和 3 年度入試結果78
- 3. 令和 4 年度私立歯科大学・歯学部入学者選抜実施計画表79
- 4. 私立歯科大学・歯学部学費一覧80
- 5. 令和 4 年度入学志願者・受験者状況 (中間状況)81

I 事業報告

1. 個別事項

(1) 歯科医療提供体制等に関する検討会について

1. 第2回理事会（R3.6.3、WEB会議）及び第92回定時総会（R3.6.17、WEB会議）において、一戸常務理事から、資料により、6月2日に開催された第2回検討会について、第1回の検討会における各構成員からの意見を踏まえて、追加の意見を求められ、歯科医師数の抑制策の見直しについては、前回発言をしたので、今回は病院歯科での研修の重要性などについて、意見を述べたこと及び今後の検討の進め方について、厚生労働省から本年度は歯科医療提供体制に関して議論し、来年度に歯科医師、歯科衛生士の需給に関する議論を行うとのスケジュール案が示され、承認されたとの説明があった。また、歯科技工士の業務の在り方等に関する議論は、本検討会とは別に検討がなされるとの説明があった。
2. 第5回理事会（R3.11.26、WEB会議）において、一戸常務理事から、検討会での検討状況について、これまで、歯科医療に関する機能分担、かかりつけ歯科医、病院歯科の地域に果たす役割などについて議論してきており、次回は障害者歯科について検討することとなっていること、現段階では何らかの結論が出ている状況にはないとの説明があった。また、歯科医師の需給に関しては、来年度以降に議論することとなっているとの説明があった。
3. 第6回理事会（R4.2.24、WEB会議）において、一戸常務理事から、資料により、11月30日に開催された第5回検討会では、地域包括ケアシステムの構築における歯科医師の係り方について議論が行われ、大学ではどのような教育が行われ、どのような成果が上がっているのかなどについて質問があり、各大学での教育により、学生は知識は持っているが、実習で患者の居宅での治療などを見る機会に乏しく、この辺が課題となっているとの回答をしたこと、次回は3月14日の開催予定となっており、ここまでで一とおり議論を終了して、来年度からは、需給に関する検討に入ることとなっているとの説明があった。
4. 第7回理事会（R4.3.24、WEB会議）において、一戸常務理事から、資料により、3月14日に開催された、第6回検討会では、歯科疾患の予防、重症化予防の推進とかかりつけ歯科医の役割等について議論がなされたこと、また、これまでの議論を踏まえ、新しい歯科保健医療ビジョンの案を作成中であることの説明があった。
5. 第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、一戸常務理事から、資料により、検討会について、これまで6回開催され、歯科医療提供体制に関する議

論が行われてきており、これまでの議論を踏まえて、新しい歯科保健医療ビジョンが取りまとめられることとなっていること及び令和4年度からは、歯科医師、歯科衛生士の需給に関する議論が開始されることとなっていることなどの説明があった。

(2) 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に関する連絡調整委員会について

1. 第2回理事会（R3.6.3、WEB会議）及び第92回定時総会（R3.6.17、WEB会議）において、白石事務局長から、文部科学省で、令和2年度に日本歯科医学教育学会が文部科学省からの委託を受けて作成した歯学教育モデル・コア・カリキュラム改訂原案をもとに、改定の最終決定を行う「モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会」を設置することに伴い、委員1名の推薦依頼があり、三浦会長及び業務執行理事と協議をして、三浦会長を推薦したとの報告があった。
2. 第5回理事会（R3.11.26、WEB会議）において、三浦会長から、資料により、連絡調整会議において、医科、歯科関係者及びその他の方が委員となって、モデル・コア・カリキュラム改定の検討が行われていること、今後のスケジュールとしては、令和4年4月に第3回会議開催、7月にワークショップ開催、夏頃パブリックコメント実施、冬頃公表し、令和6年度入学生から改定後のモデル・コア・カリキュラム適用となっているとの説明があった。
3. 第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、三浦会長から、資料により、連絡調整委員会がこれまで2回開催され、モデル・コア・カリキュラム改訂についての検討が進められていること及び改定スケジュールに関して、令和4年度夏頃に改定案のパブリック・コメントを実施、冬頃に新しいモデル・コア・カリキュラムを決定し、令和5年度を周知期間として、令和6年度入学生から適用される予定であるとの説明があった。

(3) 歯科医師国家試験について

1. 第5回理事会（R3.11.26、WEB会議）において、一戸常務理事から、11月24日に開催された歯科医師国家試験出題基準改定部会において、改定案がまとめられ、今後、学会等からパブリックコメントを実施し、続いて年末頃に各大学からパブリックコメントを実施することとなっていること、内容は本年3月にまとめられた歯科医師国家試験制度改善検討部会の報告書に沿ったものになっていること及び次回以降の検討に際しては、先般の歯科医師法の改正に伴い、出題範囲の大幅な見直しが行われるのではないかとと思われるとの説明があった。

2. 令和4年1月29日及び30日に実施された、第115回歯科医師国家試験の不適切な問題について、各大学から厚生労働省に提出した意見を、令和4年2月16日及び2月21日の2回に分けて、協会からも会長名で厚生労働省に意見を提出した。

3. 第6回理事会（R4.2.24、WEB会議）において、一戸常務理事から、歯科医師国家試験の出題基準について、最終確認が終わったので、近日中に公表される予定であるとの説明があった。

4. 第7回理事会（R4.3.24、WEB会議）及び第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、3月16日に合格発表された、第115回歯科医師国家試験の結果について、川島総務課長から資料により、説明があった。

また、合格発表当日には、厚労省から合格発表資料を入手し、直ちに、会員校にメールで情報提供した。

【第115回】

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,413人	1,999人	1,542人	77.1%
全 体	3,667人	3,198人	1,969人	61.6%

(昨年の状況)

【第114回】

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,615人	2,103人	1,687人	80.2%
全 体	3,852人	3,284人	2,123人	64.6%

5. 第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、一戸常務理事から、歯科医師国家試験出題基準改定部会において、改定作業が終了し、現在、文案等の最終チェックが行われており、近日中に公表される予定であること及び改定後の出題基準は次回116回（令和5年）の国家試験から適用されることなどの説明があった。

（4）歯科医師臨床研修について

1. 第2回理事会（R3.6.3、WEB会議）において、羽村専務理事及び一戸常務理事から、5月28日付けで改正交付された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」に、歯科医師法の一部改正が含まれており、臨床実習に関する事項が令和6年度から、歯科医師国家試験の受験歯科医に関する事項が令和8年度から、それぞれ改正適用となることなどの説明があった。

2. 第5回理事会（R3. 11. 26、WEB会議）において、一戸常務理事から、11月22日に開催された歯科医師臨床研修部会において、令和4年度の各大学における臨床研修実施計画が承認され、近日中に各大学に通知される予定になっていること、併せて、これまでは大学勤務の歯科医師については5年の勤務経験があれば指導歯科医の資格があったが、制度改正により、猶予期間はあるものの、今後は指導歯科医講習会の受講が必要となるので、早めの受講をお願いしたいと説明があった。
3. 第6回理事会（R4. 2. 24、WEB会議）及び第93回臨時総会（R4. 3. 24、WEB会議）において、一戸常務理事から、歯科医師臨床研修について、本年度から新しい制度での研修が行われているが、評価については十分な詰めが行われておらず、昨年度と今年度の厚生労働省科学研究費で、評価のためのDEBUTというオンラインシステムの改善等の検討が進められているとの説明があった。

（５）歯学教育分野別評価について

1. 第2回理事会（R3. 6. 3、WEB会議）において、羽村専務理事から、大学基準協会歯学教育評価準備委員会において、日本歯科大学生命歯学部及び九州大学歯学部を対象に試行評価が行われていること並びに6月17日に開催する協会第91回臨時総会終了後に、大学基準協会評価事業部評価第2課中村課長による歯学教育評価に関する説明会を予定しているとの説明があった。

次いで、白石事務局長から資料により、歯学教育分野別評価協議会の収支決算について報告があった。

2. 第92回定時総会（R3. 6. 17、WEB会議）において、三浦会長から、資料により、これまで歯学教育分野別評価の実施の検討をしてきた、歯学教育分野別評価協議会の第5回会議を3月9日に開催して、大学基準協会において評価の準備が順調に進んでいることを踏まえ、その設置の目的を達成したこととの判断から、令和3年3月31日を以て協議会を解散することと剰余金については、歯学教育評価に役立てることを目的に、大学基準協会に寄付することを決定したとの報告があった。

また、羽村専務理事から、大学基準協会歯学教育評価準備委員会において、日本歯科大学生命歯学部及び九州大学歯学部を対象に試行評価が行われていることの説明があった。

次いで、白石事務局長から資料により、歯学教育分野別評価協議会の収支決算について報告があった。

総会終了後、大学基準協会評価事業部 中村安希 評価第2課長による「歯学教育評価について」と題する説明会を開催し、説明終了後に質疑応答がなされた。

3. 第5回理事会（R3.11.26、WEB会議）において、羽村専務理事から、資料により、大学基準協会における歯学教育評価の評価手数料については220万円（税別）になったとの説明があった。

併せて、資料により、申請大学数の多い年度に申請を予定している大学については、申請年度を再検討していただき、変更に協力いただける場合は、12月末までに協会事務局に連絡いただきたいとの依頼があった。

4. 第6回理事会（R4.2.24、WEB会議）において、羽村専務理事から、資料により、第5回理事会で歯学教育評価の申請年度について、申請校数の多い年度への申請の再検討をお願いしていたところ、いくつかの大学から変更の連絡があり、年度ごとの申請校数がかなり平準化されたとの報告があった。

5. 第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、羽村専務理事から、資料により、大学基準協会で行きまとめた、歯学教育評価申請時期アンケートについて、各大学の協力もあって、各年度の申請大学数が、かなり平準化されたとの説明があった。

（6）共用試験の公的化について

1. 第2回理事会（R3.6.3、WEB会議）において、羽村専務理事及び一戸常務理事から、5月28日付けで改正交付された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」に、歯科医師法の一部改正が含まれており、臨床実習に関する事項が令和6年度から、歯科医師国家試験の受験歯科医に関する事項が令和8年度から、それぞれ改正適用となることなどの説明があった。

2. 令和3年度第1回教育研究部会（R3.7.21、WEB会議）を開催し、第13回教務研修会のテーマについて協議を行い、「共用試験の公的化」をテーマに開催することを決定した。

3. 第13回教務研修会を12月9日にオンライン形式で開催し、厚生労働省医政局歯科保健課課長補佐 高田淳子氏による「歯学教育における共用試験の公的化の方向性について」、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 歯学系 CBT 実施小委員会委員長 斎藤 隆史氏（北海道医療大学歯学部教授）による「歯学教育における CBT 公的化の検討状況について」、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 歯学系 OSCE 実施小委員会委員長 葛西一貴氏（日本大学松戸歯学部特任教授）による「歯学における OSCE 公的化の検討状況について」という内容の講演の後、意見交換を行った。

4. 第 93 回臨時総会（R4. 3. 24、WEB 会議）において、櫻井常務理事から、資料により、歯科医師国家試験資格における共用試験合格の要件化は、歯科医師法の改正により、令和 8 年度から適用されることになっていること及び医療系大学間共用試験実施評価機構において実施されてきている「歯科 OSCE の在り方・評価者養成に係る調査・実証事業」の成果を踏まえて、今後、厚生労働省の医道審議会に「歯科医師分科会歯学生共用試験部会（仮称）」を設置して、検討が進められることとなっていることなどの説明があった。

（7）附属病院の感染対策について

1. 第 13 回私立医科大学病院感染対策協議会総会（R3. 8. 21、WEB 会議）が、日本医科大学が当番校となり開催され、本協会から日本大学松戸歯学部の山口秀紀先生、神奈川歯科大学の沢井奈津子先生が代表として出席した。
2. 第 23 回国公立大学附属病院感染対策協議会（R3. 11. 11 WEB 会議）が、高知大学が主管校となり開催され、本協会から東京歯科大学の高野正行先生、朝日大学の安田順一先生が代表として出席した。

3. 附属病院感染対策協議会（第 13 回）（R4. 3. 23 WEB 会議）を開催し、第 13 回私立医科大学病院感染対策協議会総会の概要について、日本大学松戸歯学部の山口先生から、第 23 回国公立大学附属病院感染対策協議会の概要について、朝日大学の安田先生から、それぞれ報告があった。

引き続き、令和 4 年 1 月に実施した、「歯科診療における院内感染対策に関するアンケート調査結果について」アンケートの取りまとめを担当した、愛知学院大学の宮地 斉先生及び岩手医科大学の八重樫隆先生から説明があった。

なお、協議会には、文部科学省高等教育局医学教育課医学教育課専門官 櫻田京子氏、国公立大学附属病院感染対策協議会会長 青木洋介氏、同協議会歯科医療部会委員長 太田耕司氏及び私立医科大学病院感染対策協議会事務局長 中澤 靖氏に来賓として出席していただき、助言などをいただいた。

4. 第 7 回理事会（R4. 3. 24、WEB 会議）及び第 93 回臨時総会（R4. 3. 24、WEB 会議）において、榎常務理事から、資料により、附属病院感染対策協議会（第 13 回）において、私立医科大学病院感染対策協議会総会、国公立大学附属病院感染対策協議会総会（R4. 3. 23 WEB 会議）の概要について、国公立大学及び私立医科大学の協議会に協会代表として出席した委員から報告があり、引き続き、「歯科診療における院内感染対策に関するアンケート調査」の結果について、まとめを担当した委員から説明があり、情報を共有したとの報告があった。

(8) 協会の「広報戦略」について

① 第 12 回歯科プレスセミナーの開催

1. 第 12 回歯科プレスセミナー (R3. 10. 22) を、アルカディア市ヶ谷を会場にオンライン方式にて開催し、①ここまで進化！最先端技術は患者さんにも社会にも大きなメリットが！「Society5.0 時代の歯科医療における D X」②「コロナ禍のマスク生活で気になる口臭の仕組みと対策」をテーマに、それぞれ東京歯科大学 片倉 朗教授及び松本歯科大学 亀山敦史教授に講演が講演を行い、22 媒体 29 名の記者等の出席があった。

また、記者等とは別に、会員校の教職員 34 名の参加があった。

2. 第 5 回理事会 (R3. 11. 26、WEB 会議) において、羽村専務理事から、資料により、第 12 回歯科プレスセミナーについて、開催概要の説明があり、引き続き、白石事務局長から資料により、セミナー実施に要した経費についての説明があった。

3. 第 6 回理事会 (R4. 2. 24、WEB 会議) において、羽村専務理事から、資料により、第 12 回歯科プレスセミナーについて、開催経費 5,373,648 円に対して、報道等の広告換算金額は、17,425,745 千円と約 3 倍強の効果があったこと及び広告換算はできないものの、講演の内容をコンパクトにまとめた動画を FACEBOOK で公開したところ、約 4 万回の視聴があったとの報告があった。

また、令和 4 年度も引き続き、歯科プレスセミナーを開催することを承認した。

4. 第 93 回臨時総会 (R4. 3. 24、WEB 会議) において、羽村専務理事から、資料により、第 12 回歯科プレスセミナーについて、開催概要及び費用対効果についての説明があった。(別記 1)

② 「ユニヴプレス 11 月号」への広告記事掲載

1. 株式会社大学通信から、年 5 回、20,000 部発行され、高等学校教員に無料配布されている進学情報誌「ユニヴプレス 11 月号」への私立歯科大学・歯学部に関する企画掲載(有料)の提案があり、ここ数年の私立歯科大学・歯学部への志願者の大幅な減少を受けて、理事会において、協会における広報活動の充実の意見をいただいていることもあり、広報戦略事業と受験生確保対策事業の共同事業として実施することについて、10 月 18 日にメールにて、協会理事、事務局長会議委員、受験生確保対策委員会委員に意見を伺い、賛同を得た。

2. 11月1日に協会において、羽村専務理事が記事掲載のための、インタビューを受けた。

3. 第5回理事会（R3.11.26、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、「ユニヴプレス 11月号」に「歯科医師が地域の健康を支える」という内容のインタビュー形式の広告記事を掲載することとしていること及びこのことについては、理事の皆様事前にメールで意見をお伺いし、内諾をいただいているところであるが、その実施について正式に承認をお願いしたいとの説明があり、その実施を追認した。

4. 11月末に、「ユニヴプレス 11月号」が発刊されるとともに、記事内容がインターネットサイト ユニヴプレスにも掲載された。（別記2）

（9）私立歯科大学（学部）の財政等の現状について（令和2年版）

加盟大学から資料の提供を受け、令和2年版を作成し、令和3年度第1回経営部会（R3.9.14、WEB会議）において、情報を共有した。

（10）広報発行（第82号・第83号）について

1. 前年度と同様の掲載項目で、広報第82号を令和3年9月付け、第83号を令和4年3月付けで発行した。（別記3）

【掲載項目】

1. 巻頭言
2. 大学のニュース
3. 事業概要
4. 日本私立歯科大学協会関係の諸会議
5. 叙勲
6. 訃報
7. 人事異動消息
8. 協会役員・部会・委員会名簿
9. 一般社団法人 日本私立歯科大学協会加盟名簿
10. 賛助会員企業紹介
11. 編集後記

（11）受験生確保対策事業について

①高等学校等への入試関係資料の送付

例年どおり、令和4年度入試日程及び大学一覧などの資料を、令和3年11月下旬に、高等学校4,199校及び受験予備校62校に送付した。

②「医歯薬進学 5 月号」への広告掲載

例年どおり、株式会社 玄文社発行の「医歯薬進学 5 月号」に、高校生向けの広告を掲載した。（別記 4）

③「医療系大学データブック 2022」への寄稿

例年どおり、10 月に株式会社 大学通信から発行される「医療系大学データブック」に、羽村専務理事からのメッセージを寄稿し、掲載した。（別記 5）

④協会ホームページによる P R

令和 2 年度 10 月にリニューアルした協会ホームページの、全入試日程及び各大学入試要項のコーナー等を活用して、入試情報の広報に努めた。

⑤高校生向け冊子「歯学部へ行こう!!」の配布

1. 第2回理事会（R3. 6. 3、WEB会議）において、本田副会長から、歯学部へ行こう!!2021」は、昨年度の理事会で承認された内容で、送付先と送付部数を見直し、4月28日に高校生の自宅に送付したとの報告に続いて、私立歯学部の志願者数が減少してきていることから、受験生確保対策として、本事業は協会事業として継続して実施する必要があると考えており、「歯学部へ行こう!!2022」の作成について、承認いただきたいとの説明があり、「歯学部へ行こう!!2022」を作成し、配布することを承認した。

また、櫻井常務理事から、志願者が低迷している状況を踏まえ、低学年層への送付を増やすこととしたらどうかとの意見が出され、本田副会長から、意見を踏まえて受験生確保対策委員会で検討したいとの回答があった。また、三浦会長からは、増刷を含めて充実を図りたいとの発言があった。

2. 令和3年度第1回受験生確保対策委員会（R3. 11. 4、メール会議）を開催して、「歯学部へ行こう!!2022」について、進研アドを通じての高校生の自宅へ送付している部分に関して、新2年生への送付先を倍増するとともに、WingBoxを通じて配布している部分に関して、新たに、WingBox未設置の進学校834校の進路指導部に各10部送付し、歯学部を志願している生徒や歯学部へ進路変更を検討している生徒に手渡していただくことの配布先の拡充について提案し、理事会等に提案することが承認された。

3. 第5回理事会（R3. 11. 26、WEB会議）において、本田副会長から、「歯学部へ行こう!!2022」の作成・配布については、6月3日開催の第2回理事会において承認いただいております、その際に、出席者から配布対象を低学年中心に増やすこととの意見をいただき、三浦会長が検討すると回答されていることを踏まえ、近

年の私立大学・歯学部への志願者の減少に歯止めをかけるため、受験生確保対策の担当理事として協会事務局と協力し、検討・作成し、資料の拡充案を作成した。本案については、11月4日にメールにて開催した、令和3年度第1回受験生確保対策委員会で、意見をお伺いしたところ、提案の内容に賛成をいただくとともに、11月11日開催の令和3年度第2回事務局長会議においても賛成いただいたとの説明があり、引き続き、資料により、拡充内容の説明があった。

次いで、白石事務局長から資料により、所要経費について、説明があり、「歯学部へ行こう!!2022」について、説明のあった内容で事業を実施することについて、承認した。（別記6）

⑥入学志願者の状況調査等

1. 第2回理事会（R3.6.3、WEB会議）及び第92回定時総会（R3.6.17、WEB会議）において、川島総務課長から、資料により、協会に取りまとめた、令和3年度入試結果について、志願者が前年度に比べて、17.3%も減少していることなどの説明があった。
2. 第6回理事会（R4.2.24、WEB会議）及び第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、川島総務課長から、資料により、令和4年度の入学志願者の状況について、2月10日現在の一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の志願者状況が、前年同期に比べて+183人、+3.4%になっていることなどの説明があった。
3. 第7回理事会（R4.3.24、WEB会議）及び第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、川島総務課長から、資料により、3月15日現在の入学志願者・受験者の状況について、前年度最終志願者数と比較して、+43人（+0.6%）となっていることなどの報告があった。

⑦受験生確保対策事業に係る新たな事業の提案

第6回理事会（R4.2.24、WEB会議）において、櫻井常務理事から、資料により、高校訪問をした際に高校の教諭から「歯学部に進学して歯科医師になっても就職先がない、給料が低い。」などの、ネガティブなイメージを持っている保護者が多いという話を聞くことが多く、このような間違った情報を払拭する必要があること及び18歳人口の減少もあり、私立歯学部への志願者が減少してきている状況への対応策として、協会事業として、ハイブリット形式によるプレスカンファレンスを実施してはどうかとの提案があった。

このことについて、出席者間で意見交換をした。

意見交換を踏まえ、羽村専務理事から、令和4年度に実施する第13回歯科プレスセミナーの二つの講演の内、一つを提案のあった内容としてはどうかとの提案があり、当面はその形で実施することを承認した。

(12) 第 83 回私立大学歯学部学生生活協議会について

1. 第 83 回私立大学歯学部学生生活協議会（R3. 10. 12、オンライン開催）を開催し、情報モラル教育研究所所長 上水流信秀氏による、「after コロナ、with コロナの中での SNS の偏移とその管理策」についての講演、各大学から提出された議題について、現状報告と情報交換を行った。
2. 第 5 回理事会（R3. 11. 26、WEB 会議）及び第 93 回臨時総会（R4. 3. 24、WEB 会議）において、大友副会長から、第 83 回私立大学歯学部学生生活協議会の概要について報告があった。

(13) 研修事業について

①第 42 回附属病院管理運営事務研修会

1. 第 42 回附属病院管理運営事務研修会（R3. 10. 26、オンライン開催）を開催し、川崎医科大学総合医療センター病院事務部参与 森定 理氏による、「医療現場での問題患者対応」についての講演、各大学から提出された議題について、現状報告と情報交換を行った。
2. 第 5 回理事会（R3. 11. 26、WEB 会議）及び第 93 回臨時総会（R4. 3. 24、WEB 会議）において、櫻井常務理事から、第 42 回附属病院管理運営事務研修会の概要について報告があった。

②第 13 回教務研修会

1. 第 5 回理事会（R3. 11. 26、WEB 会議）において、櫻井常務理事から、資料により、第 13 回教務研修会を 12 月 9 日に、オンライン形式で開催すること及び講演については、厚生労働省医政局歯科保健課課長補佐 高田淳子氏に「歯学教育における共用試験の公的化の方向性について」、公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構 歯学系 CBT 実施小委員会委員長 斎藤 隆史氏（北海道医療大学歯学部教授）に「歯学教育における CBT 公的化の検討状況について」、公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構 歯学系 OSCE 実施小委員会委員長 葛西一貴氏（日本大学松戸歯学部特任教授）に「歯学における OSCE 公的化の検討状況について」という内容で依頼し、内諾を得ているとの説明があった。また、文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐 成相圭二氏及び医学教育係長 降旗みを氏にも臨席を依頼しているとの説明などが併せてあった。
2. 第 13 回教務研修会を 12 月 9 日にオンライン形式で開催し、3 人の講師による講演の後、意見交換を行った。

3. 第6回理事会（R4.2.24、WEB会議）及び第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、櫻井常務理事から、第13回教務研修会の概要について報告があった。

（14）新型コロナウイルス感染症への対応について

①令和3年度協会事業の開催方法等

令和3年度事業計画書では、各部会、委員会等の開催方法について、「各部会、委員会等については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しつつ、オンライン方式による開催も検討する。」としており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、感染防止の観点から、令和3年度の理事会、総会、各部会、委員会、協議会、研修会は、全てオンライン方式又はメール会議による開催となった。

②新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査

1. 文部科学省高等教育局医学教育課からの要請により、前年度から実施してきた、新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査及び令和2年度補正予算の活用見込額について調査について、令和3年11月に令和2年度間の状況を取りまとめ、会員校と情報共有するとともに、文部科学省高等教育局医学教育課及び厚生労働省医政局歯科保健課とも情報提供した。
2. 第5回理事会（R3.11.26、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査については、文部科学省高等教育局医学教育課からの要請により、令和2年度の状況を調査してきたものであるが、附属病院の収支状況が回復傾向にあることもあり、医学教育課とも相談し、令和3年3月分までの集計を以って、調査を終了することとするとの説明があった。
3. 第93回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、令和2年度間の新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査の調査結果について、新型コロナウイルス感染症は減収や患者数減によって、附属病院の経営に大きな影響を与えているものの、補正予算による国の支援策は、ほとんど医科系病院対象のもので、歯科系病院については対象となる支援策がかなり限られたものであったことなどの説明があった。

③歯科医師による新型コロナウイルスワクチン接種への協力

1. 第1回理事会（R3.5.21、文書会議）において、三浦会長から、資料により、日本歯科医師会から歯科医師による新型コロナウイルスワクチン接種への協力依頼（5月21日付け文書）が届き、現下の我が国における新型コロナウイルスの感染拡大状況及びワクチン接種の進行状況に鑑み、協会会長として、新型コロナウイルスワクチン接種に全面的に協力することで、理事の皆様のご了承をいただきたく、ご承認の程、よろしくお願いしたいとの説明があり、審議の結果、5月24日付けで、理事全員の承認により、全会一致で会長提案のとおり、新型コロナウイルスワクチン接種へ協力することを決議した。

2. 第5回理事会での承認を受けて、5月25日に日本歯科医師会に、理事会を開催して、協会として新型コロナウイルスワクチン接種へ協力することを決議した旨の回答を送付した。

5月26日には、上記の内容を、文書によりプレス発表した。（別記7）

3. 第2回理事会（R3.6.3、WEB会議）において、三浦会長から資料により、5月21日に日本歯科医師会から「歯科医師による新型コロナワクチン接種について」の協力依頼があり、急遽、文書による臨時の理事会を開催し、その結果、全理事からワクチン接種へ協力することの了承が得られ、5月24日付けで協会及び会員校においてワクチン接種に全面的に協力するという決定をしたこと、さらに、その内容を5月26日にプレス発表したとの説明があった。理事の皆様の迅速なご協力に感謝するとともに、地方公共団体から協力要請があったら、協力していただくよう、お願いしたいとの発言があった。

次いで、羽村専務理事から、ワクチン接種のための歯科医師への研修については、協会と厚生労働省医政局歯科保健課との協議により、各大学で実施する研修の修了者も要件を満たすとの合意を得ているとの説明があった。

さらに、先行して対応している各大学の状況について、日本歯科大学生命歯学部について羽村専務理事から、東京歯科大学について一戸常務理事から、神奈川歯科大学について櫻井常務理事から、日本大学松戸歯学部について小方理事からそれぞれ説明があった。

これらを踏まえ、協会及び会員校において、引き続き、歯科医師によるワクチン接種への協力を行うことを再確認した。

また、羽村専務理事から、各会員校での学生等へのワクチン接種の進捗状況にかなり差異があるようなので、協会として状況を調査し情報共有することとし、後日、事務局から調査の依頼をするので協力願いたいとの発言があった。

4. 第 92 回定時総会（R3. 6. 17、WEB 会議）において、三浦会長から、歯科医師による新型コロナワクチン接種への協力について、上記 3 と同趣旨の説明があった。

5. その後、各会員校で、医療従事者優先接種、大学拠点接種及び地方公共団体の集団接種会場などでの接種において、積極的に歯科医師が接種に従事した。

なお、各会員校に調査への協力をいただいている、日本歯科医師会による「歯科医師によるワクチン接種」調査によれば、令和 2 年 5 月から令和 3 年 3 月までの間に、全国でワクチン接種に従事した歯科医師は全国で延べ 31, 484 人、接種回数は 1, 831, 823 回にも及び、内歯科大学、歯学部、病院、学会等での実施は、延べ 5, 785 人、接種回数は 264, 292 回となっている。

④私立歯科大学・歯学部におけるワクチン接種への協力及び学生・教職員へのワクチン接種の進行状況調査

1. 第 2 回理事会における、羽村専務理事の発言を踏まえ、6 月 11 日から、私立歯科大学・歯学部におけるワクチン接種への協力及び学生・教職員へのワクチン接種の進行状況調査を開始した。

2. 第 3 回理事会（R3. 7. 17、WEB 会議）において、白石事務局長から、資料により、第 2 回理事会で調査の実施を伝えた、私立歯科大学・歯学部におけるワクチン接種への協力及び学生・教職員へのワクチン接種の進行状況の調査結果について、各大学の状況にはかなり差異があること及び調査は、当面毎週実施し、最新の情報を共有することとしたいとの説明があった。また、調査結果を文部科学省及び厚生労働省に提供してよいかとの確認があり、これを了承した。これらの情報を元に、出席者間で、職域接種の手続きなどについての情報交換がなされた。

さらに、調査結果のまとめ方について、分かりやすく工夫してもらいたいとの出席者からの意見を踏まえ、事務局でまとめ方の案を作成することとなった。

3. 第 92 回定時総会（R3. 6. 17、WEB 会議）において、白石事務局長 から、資料により、「私立歯科大学・歯学部におけるワクチン接種への協力及び学生・教職員へのワクチン接種の進行状況」の調査結果の概要について、各会員間で進捗状況に大きな差異があるとの説明があった。これらを踏まえて、出席者間で情報交換等が行われた。

4. 第 5 回理事会（R3. 11. 26、WEB 会議）において、白石事務局長から資料により、本年 6 月から実施してきた、私立歯科大学・歯学部におけるワクチン接種への協力及び学生・教職員へのワクチン接種進行状況調査については、希望す

る学生及び教職員への２回のワクチン接種が完了したことから、11月15日現在の調査を以って、一旦、調査を終了し、今後、必要となったら、改めて調査を実施することとするとの説明があった。（別記８）

⑤私立歯科大学・歯学部におけるワクチン３回目接種の進行状況調査

１．第６回理事会（R4.2.24、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、「私立歯科大学・歯学部におけるワクチン３回目接種の進行状況調査」を実施すること及び実施する場合の調査項目は資料の内容でよいかの確認があった。併せて、実施開始は３月からとし、実施間隔は２週間としたいとの提案があり、これらを承認した。

２．３月１日から、調査を開始した。

３．第７回理事会（R4.3.24、WEB会議）及び第９３回臨時総会（R4.3.24、WEB会議）において、白石事務局長から、資料により、３月14日現在の私立歯科大学・歯学部におけるワクチン３回目接種の進行状況について報告があり、併せて、調査への協力依頼があった。（別記９）

(15) 災害歯科保健医療連絡協議会について

１．日本歯科医師会が作成した「令和２年度災害歯科保健医療体制研修会DVD・資料」を協会でダビングして、各会員校に配布した。

２．第５回理事会（R3.11.26、WEB会議）において、白石事務局長から、JDAT創設及び活動要領案への意見照会が日本歯科医師会からあり、事前に理事の皆様にもメールにて意見をお伺いしたところ、JDAT創設について賛同をいただくとともに活動要領案については特段の意見がなかったことから、９月21日に、資料のとおり、JDAT創設に賛同する旨の回答をしたとの説明があり、このことについて正式な承認を求めたところ、特段の意見等はなく、これを追認した。

また、羽村専務理事から資料により、８月17日に開催された第13回災害歯科保健医療連絡協議会において、令和３年度災害歯科保健医療体制研修会及び災害歯科保健医療アドバンス研修会の実施要領等が決定されたとの報告があった。

引き続き、白石事務局長から、令和３年度災害歯科保健医療体制研修会及び災害歯科保健医療アドバンス研修会へ受講希望者を、それぞれ10名及び2名推薦したとの報告があった。

次いで白石事務局長から、日本歯科医師会から意見照会のあった「災害体制の現状と地域における連携体制の構築に向けて」について、各会員校に意見照会し、10大学から提出された意見を取りまとめ、10月22日に提出したとの報告があった。

3. 第 6 回理事会（R4. 2. 24、WEB 会議）において、白石事務局長から資料により、令和 3 年度災害歯科保健医療体制研修会について 8 名、災害歯科保健医療アドバンス研修会について 2 名が受講したとの報告があった。
4. 第 7 回理事会（R4. 3. 24、WEB 会議）において、羽村専務理事から、資料により、3 月 2 日に開催された、第 14 回災害歯科保健医療連絡協議会において、羽村専務理事及びいくつかの都道府県歯科医師会から、災害歯科保健医療体制研修会及び災害歯科保健医療アドバンス研修会の受講人数増についての意見が出され、来年度以降、検討することになったこと、両研修について、e ラーニングを導入することに関する協議が行われたこと及び JDAT の創設が承認されたことなどの説明があった。
5. 第 93 回臨時総会（R4. 3. 24、WEB 会議）において、羽村専務理事から資料により、災害歯科保健連絡協議会では、災害歯科保健医療体制研修会及び災害歯科保健医療アドバンス研修会の実施並びに JDAT の創設などの検討・協議が行われてきているとの説明があった。
- 続いて、資料により、令和 3 年度における研修会への協会会員校からの参加状況について、災害歯科保健医療体制研修会に 8 人、災害歯科保健医療アドバンス研修会に 2 人が参加したとの報告があった。

（16）私学関係諸団体との提携・協力及び援助について

知識と技術の向上を図り、歯科医療の発展に寄与することを目的として活動を行っている下記の 5 つの団体に対して、その活動を後援するため、各 10 万円の助成金を交付した。

- 全国私立歯科大学・歯学部附属病院看護部長会
- 全国私立歯科大学附属病院薬剤部長会
- 日本私立歯科大学・歯学部附属病院歯科技工士協議会
- 日本私立歯科大学・歯学部附属病院歯科衛生士協議会
- 全国私立歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師代表者会